

総括的評価のルーブリック

課題：吉本ばなな「ムーンライト・シャドウ」を読む授業を通して考えたことからテーマを決め、自由に論述しなさい。テーマは下のA～Dから選んでもかまいません。または、論述レポートの代わりにスピンオフ小説を書いてもいいです。論述レポート／小説、どちらも分量は800字から1200字程度書くこと。

1) 論述レポートのルーブリック

→レベル	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
↓評価要素				
分量	900字以上書けた。	800字～850字程度の論述ができた。	600～700字台まで書けたが、800字には及ばなかった。	400字程度かそれ以下しか書けなかった
構成	<ul style="list-style-type: none"> ・段落分けが適切にできている。 ・序論、本論、結論の三つの部分があり、それらが全体の中でバランスよく構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落分けが適切にできている。 ・全体が序論、本論、結論の三つの部分で構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落分けはしてあるが、長すぎたり短すぎたりする。 ・序論、本論、結論のある一部分を欠き、三部構成になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落分けをしていない。 ・序論、本論、結論の区別がない。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークで斬新で、他の人の関心を惹きつけるような意見を述べている。 ・自分の意見をサポートする分析や根拠を示していて、その分析や根拠もまたユニークな発見である 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が考えたオリジナリティーのある意見を述べている。 ・自分の意見をサポートする分析や根拠を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べてはいるが、オリジナリティーが薄いように感じられる。 ・自分勝手な意見を述べていて、それをサポートする分析や根拠をはっきり示していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べておらず、授業で聞いたとおりのことや、どこかで見聞きしたことを書いているだけである。
正確さ	<ul style="list-style-type: none"> ・文末が完全に「だ・である体」で統一されている。 ・文型・語彙の使い方の間違いがほとんどない。 ・書き言葉的な文型・語彙(抽象的な漢語など)がよく使えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末が基本的に「だ・である体」で統一されている。 ・文型・語彙の間違いが少ない。 ・書き言葉的な文型・語彙を使おうとする努力が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末に「です・ます体」と「だ・である体」が混ざる。 ・文型・語彙の間違いがやや多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末が「です・ます体」になっている。 ・文型・語彙の間違いが非常に多く、全体として意味が分かりにくい。

2) 創作スピノフ小説のルーブリック

→レベル	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
↓評価要素				
分量	900字から 1200 字の小説が書けた。	800字～850 字程度の小説が書けた。	600～700字台まで書けたが、800字には及ばなかった。	400 字程度かそれ以下しか書けなかった
構成	<ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、だれが、何をどうしたか(5W1H)の設定がある。 ストーリーの展開に起承転結がある。 	<ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、だれが、何をどうしたか(5W1H)の設定がある。 ストーリーの進行がおおむね時間の流れに沿っている。 	<ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、だれが、何をどうしたか(5W1H)の一部がはっきりしない。 ストーリーの進行にわかりにくいところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、だれが、何をどうしたか(5W1H)の設定の仕方がまったく不十分である。 自然な流れのストーリーになっていない。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 読者に訴えたいテーマがあり、その内容が深い。 筋立てがユニークで、読者を惹きつけるものがある。 生き生きとした会話、情景、心情の描写がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読者に訴えたいテーマがある 筋立てにオリジナリティーがある。 会話文と地の文があって、登場人物の内面がわかる描写もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読者に訴えたいテーマはあるが分かりにくい、あるいは、テーマとしての深みに欠ける。 筋立てのオリジナリティーが弱い(どこかで聞いたような話になっている) 会話文を効果的に使えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 読者に訴えたいテーマがない。 筋立てが完全に他のものからのコピーである。
正確さ	<ul style="list-style-type: none"> 文型、語彙の間違いがほとんどない。 普通体、丁寧体の使い分けが適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文型、語彙の間違いが少ない。 普通体、丁寧体の使い分けがだいたい適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文型、語彙の間違いがやや多く、意味のわかりにくい文章になっている。 普通体、丁寧体の使い分けが不適切であるところが目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 文型、語彙、間違いが非常に多く、意味不明な文章になっている。 普通体か丁寧体のどちらかがまったく使えていない。